



お徳侍所日活しるるに  
 あり日大切し候しお老るる  
 是存左にあり

一先方し申分ヲ造ルハ  
 一日も多ふことお徳、お徳、お徳  
 候ル事モ敷ル、候者

此方より一書の新紙、下下ニ  
 照読スレハ此方ニ和アリ、若シ  
 他ノ新紙等ヲ持テノ活字ヲ  
 指造セウシ最妙ニ活布致シ  
 在ルニ先入主トあり、其後  
 此方ノ新紙解スルモ印カ落キ

明白に候  
 今十日ヲ出テスレハ此方、その他  
 活字、言者、年、日、田、山、  
 二首、接、ナレ、ナリ、十日ヲ待ツル、  
 ハ、何、多、モ、次、由、留、ニ、お、運、ビ、  
 の、大、里、ヲ、第、一、ニ、此、方、ノ、思、向、





ハ何々モ次通留ニ而運ヒテ  
の六里ヲ第一ニ此方ノ思通

也子示スヘク于要ニシテ地方ノ  
年陰也、此新紙、第一ニ揚

ケタル事、亦、新中ヲ指テ十  
陸、(其係ヲ問ハス)ハ、也

一日モ多ク、日、性、亦感テ、キ、  
筆、立、レ、ル、条、ト、テ、有、

一 先方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何

一 後方ノ後来ノ主義  
如何



右物令ヲ始ルルトトぬレハ最子  
ヤ斯クトト遠運ヘリ、其ノ成  
行キ如何ナラント振ト新ヤ  
世上ニ以能功ニ直カラント存  
ヲ振ニ公明ニぬサレハ改轍  
群集ニシテ

むミ至以テ、一ノ下親ラ「秩  
序」静穏進歩シ「ニ」テ  
ル「ト」先方ハ治シ「ト」  
方

○先方ヲ守ルル業ト思見

一 甲子年以後、八家以内ニ「  
責任」ありト為ス「キ」

一 携々資格、十四以下ナル「  
」

一 明治二年（廿二年）ニ「  
」

○此方、諸ノ可キ業

一 斯ク漸ク改道ニ向フ上ハ  
カヲ尽シ暴激ノ改革ヲ  
防止シテ現カビ子ツト成  
助ク「キ」



○此方、諸事可々業し

一 斯く漸く改道ニ向フ上ハ  
カヲ尽シ暴激ノ改革ヲ  
防止シテ現カビ子ツト成  
助クヘキナリ

右ハ其意ヲ平ノ思田憲ヨリ代  
法事柄故、中止案ナクモ尚ホ  
月曜早朝ヨリ能出心算ニ

あつ子

○此方ハ其意ヲ平ノ思田憲ヨリ代  
法事柄故、中止案ナクモ尚ホ  
月曜早朝ヨリ能出心算ニ

○此方ハ其意ヲ平ノ思田憲ヨリ代  
法事柄故、中止案ナクモ尚ホ  
月曜早朝ヨリ能出心算ニ

○此方ハ其意ヲ平ノ思田憲ヨリ代  
法事柄故、中止案ナクモ尚ホ  
月曜早朝ヨリ能出心算ニ

○此方ハ其意ヲ平ノ思田憲ヨリ代  
法事柄故、中止案ナクモ尚ホ  
月曜早朝ヨリ能出心算ニ

○此方ハ其意ヲ平ノ思田憲ヨリ代  
法事柄故、中止案ナクモ尚ホ  
月曜早朝ヨリ能出心算ニ

九月十日



其以子ありて多敷也

九月

十日

十日

八月一日 (ハルボ) 社説

条約改正ニ付其ノ成行ハ下ノ

如キヲ知得タリ

外国ノ各代人ハ日本政府代人ノ

承諾ノ上ニテ或ル時限内ニ録有

裁判ヲ漸クニ停止スル目的ノ

条約草案ニ同意ヲ表シ

タリキ 右草案ハ其ノ完全

ナル後、四月ニ諸国ノ本国政

府ニ進送シタリキ 其内ニ又

六名ノ委員ヲ置テ 通商条

約草案ニ終リ日本モ之ニ同意

シ諸国ノ代人ハ最近ノ一郵便

ニテ之ヲ本国ニ送送レリ

近日帝國内政ニ生セシ異議ノ

得ケヨリレテ日本ハ今全

ク會議ヲ延期スルヲ好ムト見ヘ

タリ 現ニ編製中ナル法律條



裁判ヲ漸ク停止スル目的ノ  
条約草案<sup>コンベンション</sup>ニ同意ヲ表シ

タリキ

右草案ハ其ノ完全

ナル姿ノ俟、四月ニ諸国、本国政  
府ニ照送シタリキ 其内ニ又

六名ノ委員ヲ四區ニ通商条

約草案<sup>141</sup>ニ終リ日本モ之ニ同意

シ諸国ノ代人ハ最近ノ一郵便

ニテ之ヲ本国ニ送送レリ

近日<sup>多分</sup>帝國内ニ生セシ異議、

得ケヨリレテ<sup>オランダ</sup>日本ハ今全

ク會議ヲ延期スルヲ好ムト見ヘ

タリ(現ニ編製中ナル法律條

例ノ完成スル迄ハ)

井上伯ヨリ去ル金曜日(七月廿九日)

折テ諸外国ノ代人ニ下ノ如キ事

職務上ノ通報アリキ曰ク改

正人會議ハ其期限ノ延期ヲ

為スヘシト